

令和4年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・動画による児童集会活動を通して運動をすることの大切さを伝えたり、休み時間の外遊びを推奨したりすることにより、外で遊ぶ児童が増えている。
- ・休み時間に、校庭だけでなく、体育館やバスケットコート、第二グラウンドを積極的に開放したことで、進んで運動する児童が増えている。
- ・体育の授業で使った用具を、休み時間にも校庭で自由に使用できるようにしたことで、学びや運動の日常化につながった。
- ・ICTを活用する機会を増やしながら授業を行ったことで、動きのコツを見付けやすくしたり、児童自身が具体的に動きを振り返ったりする学び方ができるようになった。
- ・『学習カード』を活用する機会を増やしたことで、児童一人一人が自分の学習の様子をじっくりと振り返ることができ、次の活動や取組に活かそうとする姿勢につながる場面が増えてきている。

(2) 課題

- ・体育学習を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができている児童が増えつつあるが、児童の意欲や技能面における二極化が目立つ状況が継続したままである。
- ・感染症対策のため、個人で行う運動や制限を設けたゲームを行うことが多かった。そのため友達や仲間と連携する運動の経験が乏しい。また、勝敗を競うゲームにおける戦術学習も十分に行えていない。

2 観点別分析

(1) 体力テスト結果の分析

専門業者による分析待ち

(2) 観点別の分析

①低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知ることができている。・運動遊びに取り組む時間を十分確保したことで、基本的な動きが身に付いている。・感染症対策による制限のため、体を腕全体で支える力、水中での動き、ゲームの中でボールを持たない動きが身に付いていない。	<ul style="list-style-type: none">・感染症対策による制限のため、規則の工夫やゲームにおける攻め方の選択の経験が乏しい。・走・跳の運動遊びでは、場を選んだり遊び方を工夫したりすることができている。・学習の振り返りの際に、感じたことを言葉で表現することができている。	<ul style="list-style-type: none">・運動遊びにすすんで取り組むことができている。・きまりを守り、仲良く運動することができる児童が多い。・勝敗を受け入れられない児童もいる。・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをする経験が乏しい。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について、概ね理解している。 ・個人で行う基本的な動きや技能は概ね身に付いている。 ・感染症対策による制限のため、体を腕全体で支える力、水中での動き、ボールを持たないときの動きが身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付けることができている。 ・感染症対策による制限のため、規則の工夫や簡単な作戦の選択の経験が乏しい。 ・走・跳・投の運動では、自分の課題に合わせて、場や活動を選択することができる児童は約半数である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動にすすんで取り組むことが概ねできている。 ・きまりを守り、仲良く運動することができる児童が多い。 ・勝敗を受け入れられない児童もいる。 ・友達の考えを認めようとしている。 ・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをする経験が乏しい。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について、概ね理解している。 ・個人で行う基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能は概ね身に付いている。 ・感染症対策による制限のため、体を支持する力、各種泳法、ボールを持たないときの動きが身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や他者の運動や身近な生活における健康の課題を見付けることが概ねできている。 ・感染症対策による制限のため、ルールや工夫や自己やチームの特徴に応じた作戦の選択の経験が乏しい。 ・自己やチームの課題を解決するための方法を工夫することができる児童は約半数である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組むことが概ねできている。 ・約束を守り、助け合って運動することができる児童が多い。 ・勝敗を受け入れられない児童もいる。 ・仲間の考えや取り組みを認めようとしている。 ・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをすることができる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・鬼遊びや遊具・用具を使った運動遊びに取り組む機会を多く設け、「遊び」を通して様々な動きに親しむ中で、基本的な動きが身に付くようにする。 ・単元を問わず、準備運動も兼ね、鬼遊びや短縄を使った運動遊び、体ほぐしの運動遊びを継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。 ・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや低学年の実態に応じた動きのコツを伝える。 ・感染症対策による制限のためできていなかった運動遊びに取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿ってやりたいことを自己決定する活動を取り入れる。 ・単元によっては『学習カード』を活用しながら、振り返る学び方を体育科の中でも培っていく。 ・よい動き方に気付いたり、伝えたりする経験を積ませる。 ・自己だけでなく、友達の動きのよさを見付けさせ、伝える活動を取り入れる。 ・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意し、きまりを守りながら、運動遊びにすすんで取り組めるような声掛けや場の設定をしていく。 ・場の準備・片付けを自分たちで安全に行えるように指導する。 ・運動を楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め、全体の意欲向上につなげるようにする。 ・運動のコツを掴ませ、できる喜びを味わわせ、運動の楽しさを実感させていく。 ・全員が活躍できる場や規則を設定する。 ・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように『学習カード』等を活用する。 ・休み時間には、教師もすすんで一緒に校庭に出て遊び、共に運動の楽しさを味わい、伝えるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「体づくり運動」を要に多様な動きの獲得や動きの組み合わせができるようにする。 ・単元を問わず、準備運動も兼ね、鬼遊びや短縄を使った運動、体ほぐしの運動を継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。 ・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや中学年の実態に応じた動きのコツを伝える。 ・授業の始めに、主運動につながる運動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿ってやりたいことを自己決定する活動を取り入れる。 ・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。 ・自己の課題に合った場や練習方法を選択する活動を取り入れる。 ・自己だけでなく、チームやグループ活動の中の課題を見付け、課題を解決するための方法や活動を工夫しながら考えたり、互いの動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意し、きまりを守りながら、運動に進んで取り組めるような声掛けをする。 ・場の準備・片付けを自分たちで安全に行えるように指導する。 ・運動を楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め、全体の意欲向上につなげるようにする。 ・運動の仕方や技能のコツを掴ませ、できる喜びを味わわせ、運動の楽しさを実感させていく。 ・全員が活躍できる場や規則を設定する。

<ul style="list-style-type: none"> ・保健学習や食育とも連携し、健康の保持増進にも目を向けさせ、規則正しい生活と意欲的に運動をする態度を育てる。 ・感染症対策による制限のためできていなかった運動に取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。 	<p>の良さについて見付け、考えたことを伝えたりする活動を取り入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように学習カード等を活用する。 ・休み時間には、教師も進んで一緒に校庭に出て遊び、共に運動の楽しさを味わい、伝えるようにする。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単元を問わず、準備運動も兼ね、持久走や短縄を使った運動、体ほぐしの運動に継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。 ・ICT機器や教師、友達を通して、運動技術の重点を押さえる。 ・易しい場や練習方法を示し、課題解決方法を理解・活用し技能を高められるようにする。 ・授業の始めに、主運動につながる運動を取り入れる。 ・保健学習や食育とも連携し、健康の保持増進にも目を向けさせ、規則正しい生活と意欲的に運動をする態度を育てる。 ・感染症対策による制限のためできていなかった運動に取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を理解し、自己や他者の能力を分析したり解決方法を自己決定したりする活動を取り入れる。(ICT機器の活用) ・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。 ・運動中の状況判断が求められる活動を設定し、判断力を伸ばす。 ・健康の保持増進に向けた解決策を調べ、プレゼンテーションする場面を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に留意し、約束を守りながら、運動にすすんで取り組めるような声掛けをする。 ・運動に楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め全体の意欲向上につなげるようにする。 ・運動のコツを掴ませ、運動の楽しさを味わわせる。 ・仲間の考えを認め、協働して学ぶ姿を価値づける。 ・全員に役割を与え、「する・見る・支える・知る」体育の見方・考え方に触れられるようにする。 ・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように学習カード等を活用する。